

ごあいさつ

北九州ひとみらいプレイスは、今年、平成31年4月に7年目を迎えるとしています。現在、ひとみらいプレイスは、「未来をひらく人づくり」という共通の目標を掲げ、それぞれの施設が強みを活かしながら、連携して事業に取り組んでいます。

昨年11月に開催したひとみらい交流ウィークには、1週間で4万5千人以上の方にご来場いただき、コムシティを中心に黒崎地域が大変にぎわいました。黒崎こども商店街をはじめ、親子で学ぶ体験授業の開催、ひとみらいフェスティバルに近隣中学校の合唱部が初めて参加するなど、若い世代を対

象とした事業を展開し、今まで以上に幅広い年代の方々にひとみらいプレイスを知っていただけたのではないかと思います。

今年も、プレイス施設が連携し、「未来をひらく人づくり」に向けて取り組んでまいります。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



<北九州ひとみらいプレイス事務局>

おいでよ！ひとみらいプレイス

毎号、ひとみらいプレイスの構成施設をご紹介します。

ユースステーション

北九州市立ユースステーションでは、開所以来多岐に渡る事業を行い、多くの参加者とふれあって参りました。

また今年度は、当所の目標の一つに「外部との連携強化」を掲げて歩んで参りました。ひとみらいプレイスの各施設をはじめ、多くの方にご協力を賜り感謝しております。

中でも、高校生を対象とした気ままにセミナー「ゲームで学ぶコミュニケーション」では、コムシティ内の施設を訪れる高校生のみならず、私共にもたくさんの出会いがありました。また、副都心黒崎開発推進会議を主管団体とし、企業・商工会議所・自治体・商店街など黒崎のまちを構成する団体や地域の皆様とのつながりを深める「黒崎96の日」へ学生チームを送り出し、にぎわい創出に協力することが出来ました。

そして、ユースステーションの看板行事となっております「ユースの秋祭り2018」では、子ども連れのご家族や中高校生が多数来所して下さり、各コーナーでゲーム等を楽しんでいただき、笑顔溢れる一日となりました。

当施設が皆様にとって家庭でも学校でもないサードプレイスとしてより快適に、若者が来所しやすい雰囲気作りを目指して、所員一同懸命に努力して参ります。本年も多くのお会いを楽しみに、ご利用をお待ちしております。



西部障害者福祉会館

西部障害者福祉会館では、昨年、ひとみらいプレイス各施設と多くの連携事業を行う事が出来ました。主なものとして、北九州国際交流協会との連携で、障害のある方を対象にベトナムの食と文化を学ぶ講座を開催。九州国際大学地域連携センターとは、聴覚に障害のある方を対象に終活セミナーを行いました。また、ユースステーションと連携し、夏休みに小学生を対象に視覚障害について講義を行いました。そして、八幡西生涯学習総合センターとは、「気ままにセミナー」にて、親子でカレーブルーや職業病予防の講座、「市民カレッジ」では、障害のある方もない方も共に学び、ダンスを創り上げていくフラッシュモブの講座を行っています。

また、11月には、「ひとみらい交流ウィーク」の一環として、「であい・ゆめ広場」という文化祭を開催。今年もステージや体験コーナー、バザー、作品展示と盛りだくさんな内容で、たくさんの方にご来場いただきました。

コムシティという複合施設の特徴を生かし、障害のある方には幅広く学びの機会を提供でき、障害のない方には障害のある方と共に学ぶことで障害の理解につながるきっかけを作ることが出来ています。本年も各施設と連携し、幅広い支援を提供できればと思います。今年も西部障害者福祉会館をどうぞよろしくお願い致します。



第6回 ひとみらい交流ウィーク 4万5千人が来場!

11月7日(水)～13日(火)の1週間、副都心黒崎のにぎわい創出を目指し、「第6回 ひとみらい交流ウィーク」を開催しました。

コムシティでは、ひとみらいプレイスを構成する各施設による文化祭や記念行事、各種セミナーを実施。また、黒崎ひびしんホールでは、小惑星探査機「はやぶさ」でプロジェ

クトマネージャーを務めた川口淳一郎氏による、「人づくり講演会」、黒崎商店街では、1,000人以上の小学生が職業体験を行う「黒崎こども商店街」が実施され、黒崎のまちが大変にぎわいました。

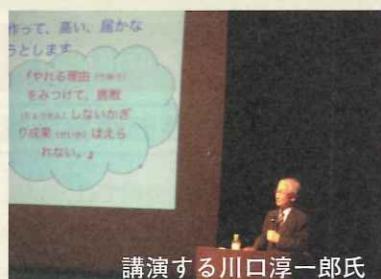
期間中、30を超える事業が行われ、合計4万5千人以上の方にご来場いただき、黒崎地域のにぎわい創出に貢献しました。

<人づくり講演会>

11月9日(金)、黒崎ひびしんホールにて、人づくり講演会を開催しました。

講師は、小惑星探査機「はやぶさ」でプロジェクトマネージャーを務めた、JAXA シニアフェローの川口淳一郎氏。「『はやぶさ式思考法』～やれる理由こそが着想を生む～」という演題で講演いただきました。

川口さんは軽妙な語り口で、「完全でなくて良い。土台作りも大切だが、時には顔を上げ、高い塔のてっぺんを目指さなくてはいけない」と語り、「自分を信じて、やれる理由を見つけ、挑戦することの大切さや、前向きに生きるためのメッセージを伝えてくれました。



講演する川口淳一郎氏

<黒崎こども商店街>

11月10日(土)には、黒崎こども商店街が開催されました。1,000人以上の小学生が黒崎商店街で職業体験を行い、多くの親子連れでにぎわいました。

子どもたちは自分で仕事を選び、店頭で接客や販売等、様々な仕事を体验して、こども税務署で「納税」。こども銀行で会場内通貨「クロン」を受け取り、商店街での買い物を楽しんでいました。

当日は、地元黒崎の方々をはじめ、市内4大学から将来教育関係の仕事を志す学生もボランティアとして参加。元気と笑顔で子どもたちを支援しており、若い力が黒崎の街のにぎわいづくりを力強く支えていました。



にぎわう黒崎商店街
と職業体験をする
子どもたち

ひとみらいプレイスの連携事業

ひとみらいプレイス× 黒崎商店街×市内4大学



黒崎こども商店街2018

八幡西生涯学習総合センター×
ユースステーション×
アジア女性交流・研究フォーラム×
北九州市立大学



気ままにセミナー「ゲームで学ぶコミュニケーション」

ひとみらいプレイス× 八幡図書館×八幡西図書館



子どもビブリオバトル

ひとみらいプレイス× 九州女子大学



九州女子大学書道部書初めパフォーマンス

八幡西生涯学習総合センター×
市民活動サポートセンター



クリスマスコンサート クリスマスプチマルシェ

ユースステーション×
西部障害者福祉会館



心のバリアフリー
~「目の見えない方の生活」と「盲導犬」について学ぼう~

<NPO・市民講演会>



「髪がつなぐ物語」というタイトルで、ヘアドネーションについて、NPO法人JHD&Cの方にご講演いただきました。

<ひとみらい文化祭>



期間中、黒崎市民ギャラリーにて開催。書道や切絵、表装、編み物など、力作揃いでました。

<おしごとトークカフェ>



企業の採用担当者をゲストに招いて、就職活動の経験談や採用される人材像についてお話しいただきました。

<親子で学ぶ体験授業>



今年度初めて実施。親子で「手作りスピーカー」や「アンモナイト」について体験しながら学びました。

<子どもの館開館17周年記念行事>



開館17周年を記念して、日曜日には無料開放を実施。子ども縁日も開催し、親子3世代で楽しんでいただきました。

<終活セミナー 2018>



九州国際大学地域連携センターと西部障害者福祉会館の連携で、聴覚に障害のある方を対象に終活の講演を開催。

<Enjoy 音塾 in コムシティ>



八幡西生涯学習総合センターのボランティアグループ「学びサポーター」の主催による、クラシック音楽入門講座。

<八幡税務署管内 税務推進協議会 税金クイズ・パネル展>



税務推進協議会の協力により、税に関するクイズや一億円のレプリカ体验など、楽しく学ぶことができました。

気ままにセミナー 好評開催中

ひとみらいプレイスでは、主に働き盛りの現役世代の方々に、仕事帰りや休日等に気軽に学んでいただきたいとの趣旨で、「気ままにセミナー」を開催しています。今年度は、17講座を実施し、600人以上の方にご参加いただきました（平成30年12月現在）。

特に、シビックプライドの醸成を目標に、北九州を拠点に現在活躍している人に学ぶ、「北九州にこんな人が！」シリーズ

では、これまでに5人の活動者を紹介。参加者からは、「北九州の貴重な“もの”を守る事が大切だと感じました。小さな力を活かして協力して守りたいと思いました。」といった声があり、大変ご好評いただきました。

その他にも、国際交流や映画、翻訳、子育て等、多彩なジャンルで皆さんに学びを深めていただくきっかけづくりに取り組んでいます。





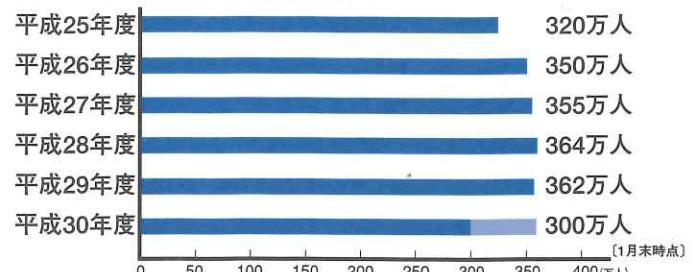
ひとみらいプレイスの利用状況

平成25年の開設から現在まで、コムシティ及びひとみらいプレイスの集客数・利用者数は着々と増加し、安定しています。特にひとみらいプレイスは、年々利用者が増加しており、平成30年度も、前年度を上回るペースで皆さまにご利用いただいている。これは、ひとみらいプレイス11施設がそれぞれに強みを發揮し、充実した連携ができていることによるものではないでしょうか。

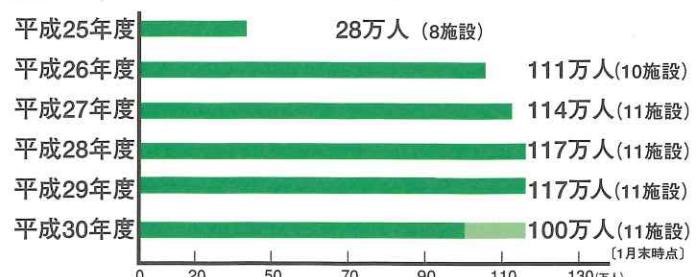
また、副都心黒崎地域のにぎわいづくりを目指して開催している、ひとみらい交流ウィークでは、毎年11月の1週間で、およそ4万5千人(1日当たり約6,500人)を安定して集客することができています。6年間継続しているにぎわい創出の取り組みが、黒崎地域のイベントのひとつとして定着してきたと言えるでしょう。

これからも、ひとみらいプレイス内の連携を充実させていくことはもちろん、コムシティを飛び出して他の公共施設やまちづくり団体等とも手を組み、より質の高い連携事業を実施していくことで、副都心黒崎地域のにぎわい創出をはじめ、あらゆる世代の学びの充実、交流の促進を目指して取り組んでまいります。皆さまのご参加、ご協力をお願いいたします。

①コムシティ全体の利用者数



②プレイス11施設の利用者数



③交流ウィーク開催状況、来場者数



3F 八幡西生涯学習総合センター
市民の自主的な活動を支援するため、会議室等の貸出、専門的なニーズに応える講座も開催しています。
●北九州ひとみらいプレイスの事務局を兼ねています。

3F 市民活動サポートセンター
NPO・市民活動に関する相談受付、情報提供や各種講座・講演会の開催など、市民活動団体に対する様々な支援を行います。

3F 美術館黒崎市民ギャラリー
芸術文化の振興を図るために、市民の発表の場としてご利用いただけます。

3F 北九州国際交流協会
外国人も日本人も、みんなが笑顔で安心して暮らせるような活動を行っています。

3F 放送大学 北九州サテライトスペース
通信制の正規の大学です。授業は300科目以上の中から選択し、インターネット・BS放送等で自由に学べます。

7F 子どもの館

「安心・安全・快適」に子どもやファミリーが楽しめる遊び場、子育て中の親を支援する場などを提供しています。

B1F くろさき少年支援室

子どもや保護者、学校、関係機関から不登校・いじめ・進路・人間関係等の相談を受け一緒に考えていく通室施設です。

B1F ユースステーション

中・高校生をはじめとする若者が、学習や体験、仲間との交流等を通じて、社会性や自立性を身につける場です。

2F 九州国際大学地域連携センター

大学を中心に英知を地域社会に開放するとともに、人づくりに貢献し、地域づくりに寄与します。

2F 若者ワークプラザ北九州・黒崎

若年者の就業支援を目的として、就職相談、就職活動に役立つセミナー情報の提供を行っています。

北九州ひとみらいプレイスは、

「未来をひらく人づくり」を目指しています。

5F 西部障害者福祉会館

障害のある方や、ボランティア・関係者の方が、活動・交流の場として気軽に利用いただけます。